

「三宝通信」法話

浄土宗 天上山 大念寺
住職 大島 祥明

日々の暮らしで
大切な先祖供養

日々の家庭の中で、私たちが安心して暮らすためには、ご先祖さまに対する供養が大切です。

先祖供養は儒教の教えで、仏教ではありませんが、悪いことではありません。いま自分がいるのは、まちがいがなく先祖がおられたからです。だから、自分が存在していることに対する感謝の思いが大切なんです。供養といっても、特別なことではありません。

お仏壇に手を合わせ、ご先祖のことに思いを寄せることが供養になるのです。

昔は、常にご先祖さま、仏さまという心が、家庭の中に取りました。いただきものは、まず仏壇にお供えしてから、給料をもらえば給料袋をお仏壇に供えて、感謝していただいたものです。

なにかあつたら、まず仏さま、まずご先祖さまに報告してからという心がありました。そうした暮らしの中に、心からの安心があつたのだと思います。

●大島祥明住職著『死んだらおしまい、

ではなかった』(PHP
研究所刊)より抜粋。
同著の問い合わせ

☎03-3239-6257 (PHP研究所ビ
ジネス出版部)

